法政大学経済学部同窓会報

第89号 2023年（令和5年）9月1日
法政大学経済学部同窓会（略称 法政経友会）

発行人：村田紀敏（同窓会会長）／編集人：執行部編集委員会
〒194-0298　東京都町田市相原町4342 法政大学経済学部研究棟4階420号室
電話・FAX 042-783-2550　http://www.hoseikeiyukai.jp/
郵便振替口座001706−602070　三菱UFJ銀行橋本支店普通口座0166670
＊事務局の開室日時は、火曜日と金曜日の9：30 ～ 15：30です

本会は、会員相互の親睦をはかり、経済学部および母校の発展ならびに社会・文教の進歩に寄与することを目的とする。（同窓会会則第３条）

対面での定期幹事総会ならびに4年ぶりのオレンジの集いが開催される

2023年度、法政大学経済学部同窓会定期幹事総会・経済学部オレンジの集いが、6月3日（土）の午前10時30分から、四ツ谷駅前の主婦会館プラザエフで行われました。

まずは4階「シャトレ」にて、約40名が出席し、定期幹事総会が行われました。最初に、この1年間に亡くなった物故者56名への黙祷が行われ、続いて、村田紀敏会長挨拶があり、その後議事へと移りました。

主な議題は次の2つです。

■第1号議案
2022年度事業報告、決算報告承認、監査報告の件

第1号議案については、髙森正雄事務局長より、主に次のような報告がありました。

2022年度は、新型コロナウイルスの流行が徐々に収束の兆しをみせ、大学においても対面による授業が再開されるなど、同窓会の活動にとっても環境が好転した。こうした中、定例の会合はすべて対面で行われ、また新年の七福神巡り及び春の桜を観る会といった恒例行事も実施するなど、ほぼ平常に近い形での活動に戻り、会員相互の親睦の場が確保された。

経済学部同窓会創立30周年記念行事についても、以前の同窓会報で報告のとおり、当初予定されていたすべての行事が成功裏に実施された。

学生・若手会員をターゲットとしたSNS（インターネット上での相互交流）等による情報交換の仕組みの導入がスタートし、主として若者をターゲットとして、TwitterやLineを利用したネットワークを導入。在校生や全国の経済学部卒業生に法政経友会に関する情報を発信した。また、それを支援する形で、同窓会創立30周年記念にちなんでの景品付き入会キャンペーンを行った結果、卒業生や新入生の入会がみられるなど、一定の成果を収めた。

次世代に繋げる人材の確保のため、ここ数年に入会した会員との懇談会を開催するなど、将来に向けた人材の確保に向けての活動も実施した。

懸案事項として、コストの削減があり、会員数の減少に伴う会費収入の落込みに対応して引続きコ

2面へ

久々のスクールレイアウトでの定期総会

令和６年 法政経友会 七福神巡りのお誘い
「池上七福神」
緑豊かな池上本門寺周辺と門前町の風情を楽しみながら歩く

法政経友会では、文京法友会と合同で、新年の七福神巡りを計画しています。ふるってご参加ください。

日　時	令和６年１月13日（土） 10：15スタート
集　合	東急池上線 池上駅 南口 エスカレーター降りる
コース	①崇禅寺（布袋尊）　②微妙庵（毘沙門天）　③馬頭観音堂（大黒天）　④厳定院（弁財天）⑤本成院（池上本門寺境内）（福禄寿）　⑥妙見堂（寿老人）⑦養源寺（恵比寿）⇒池上駅
歩行距離	5.5km、２時間を予定
懇親昼食会	2,000円（予定）
申込締切	令和５年12月27日
申込先	経済学部同窓会事務局 下浦・進藤 電話・FAX 042-783-2550 （電話での対応は、火・金曜日の9：30 ～ 15：30です）

スト削減に努めた。当年度は、30周年記念事業関係事務費への同事業寄付金の繰入れや印刷費等の減少が寄与し、前年度に続き黒字を確保した。

■第２号議案　２０２３年度活動方針、事業計画、予算案承認の件

第２号議案についても、髙森正雄事務局長より、主に次のような報告がありました。

新型コロナウイルスの収束に伴い、従来からの同窓会活動を再開・活発化させる環境が整いつつある。定例会合は対面で行い、会合後の懇親会も復活させたい。また、各種イベントも計画どおり進め、週末のイベントは、若手会員や学生会員にも積極的に参加を呼びかける。

竹口経済学部長からは経済学部の近況と展望が語られた

10の円卓に分かれての着座式の懇親会

最後は全員がスクラムを組んでの校歌斉唱

ＳＮＳについては、今後は若手常任幹事の力を借りつつ、全国の会員及び経済学部卒業生に対し有効活用を進める。加えて、過去数年の間に加入した会員との親睦を図るための、食事会等を増やす。

以上の基本方針に基づき、以下の内容の実現に向けて努力する。

①ＳＮＳを活用した新規会員の積極的勧誘の実施及び全国の会員への情報発信の拡大

ＳＮＳを通じた同窓会の情報発信を積極的に行うとともに、卒業、入学時にはＳＮＳを活用して入会キャンペーンを実施しつつ新規会員の増加を目指す。また、若い世代の会員を中心に、メールアドレスを登録している全国の会員に対し、ＳＮＳを通じた情報発信・情報交換、及びZoom（動画対話システム）等を利用しての対話イベントを模索するなど、首都圏外の会員との距離の短縮を図りつつ、同窓会の将来の人材確保にも努める。

②在学生を対象としたＯＢ／ＯＧとの対話の実施

昨年実施した、経済学部ＯＢ／ＯＧとの対話会の評価が高かったことから、本年度は学生会代表との連携を強め、一層の機会を設ける。新入会員についても、食事会や法政経友会のイベント等を通じ、積極的に交流の場を提供する。

③学生を対象とした社会見学やニーズに応じたイベントの実施

会員の社会や企業とのつながりを利用し、学生を対象とした企業見学を計画する。また、学生会との情報交換を密にし、同窓会へのニーズの把握に努めつつ適切に対応する。

会場からの、コロナ禍終息後の、会員交流のためのより積極的な活動と情報提供を希望することや、以前行っていた学術講演会の再開を希望する意見に対し、ニーズを探りながら検討していくとの回答がなされ、採決に入った結果、第１号議案、第２号議案ともに承認されました。

＊　＊　＊

定期幹事総会に続き、11時30分からは、会場を９階の「スズラン」に移し、経済学部教授会との共催で「オレンジの集い」が行われました。今回は、コロナの影響が完全に収まっていないことなどを配慮し、着座形式となりました。

司会は学生会代表の植田臨太郎さんが務め、村田紀敏会長のあいさつの後、法政大学校友会副会長の石渡洋行氏、理系同窓会会長の村主康和氏から来賓あいさつがありました。

続いて、法政大学経済学部長竹口圭輔先生から、「コロナ禍を経た経済学部の今とこれから」という演題での講演がありました。竹口先生からは、やっとコロナ禍を抜け出ての学部運営の希望が語られた一方、それまでコロナ対策でオンラインだったのが急に対面になり、人間関係などで悩む学生が、以前では考えられないほど増え、どの大学でも相談室は予約待ちの状態で、法政大学も例外ではないとの報告が印象的でした。

その後、法学部同窓会会長の池上貞純氏の音頭で乾杯となり、各テーブルでは会話に花が咲きました。

最後は、肩を組んでの校歌斉唱、そして花澤良三同窓会幹事長のお礼のあいさつでお開きとなりました。

定期幹事総会で22年度決算・23年度予算を承認
30周年記念事業予算の一般会計への繰り入れにより黒字決算に

6月3日（土）に開催された定期総会で、22度決算・23度予算が承認されました。概要を以下のとおり報告します。

2022年度決算及び2023年度予算

（単位千円）

〈収入〉	22年度予算	22年度決算	差異	23年度予算
年会費収入	1,792	1,559	△ 233	1,505
終身会費収入	405	432	27	405
寄付金収入（一般活動支援）	250	231	△ 19	300
名刺広告収入	900	850	△ 50	800
ＨＰバナー広告収入	120	120	0	120
校友会費納入還付金	14	72	58	30
校友会活動補助金	0	0	0	0
雑収入	20	44	24	50
30周年記念事業事務経費繰入		369	369	—
収入計	3,501	3,677	176	3,210
人件費	1,450	1,531	81	1,500
事務用消耗品費	70	25	△ 45	30
事務用備品費	40	17	△ 23	20
事務用印刷費	220	143	△ 77	80
通信運搬費	210	155	△ 55	150
会報発行費	800	825	25	830
会報発送費	320	309	△ 11	290
賃借費	60	59	△ 1	60
渉外費	120	63	△ 57	100
雑費	170	131	△ 39	130
支出計	3,460	3,258	△ 202	3,190
［前年度よりの繰越金］		1,760		
収入―支出		419		
終身会費次年度繰越金		1,729		
次年度以降会費収入		26		
［次年度への繰越金］		3,934		

（学生支援積立金）

前年度繰越金	1,835
収入（100周年記念事業＋寄付）	793
支出（内訳右欄）	208
次年度繰越金	2,420

（支出内訳）

各種大会賞金	80
卒業生記念品等	7
メルマガ運用費用	120
振込手数料	1

（平和祈念碑建立20周年記念事業）

前年度より繰越	153
30周年記念事業へ移管	153
次年度繰越	0

（創立25周年記念事業）

前年度より繰越	268
30周年記念事業へ移管	268
次年度繰越	0

22年度決算

収入は、年会費及び名刺広告収入が減少した一方で、30周年記念事業に係る事務経費として、約37万円を同事業寄付金から繰り入れたことが大きく寄与し、対予算費17万円強の増加となりました。

他方、支出は事務員の給与の指標となる大学の時給引上げに伴い、人件費が予算比プラス8万円となりましたが、その他はほぼ全科目で対予算比マイナスとなり、支出合計は予算比マイナス20万円強となりました。

以上の結果、収支はプラス約42万円と、3期連続で黒字決算となりました。これにより、財務基盤の健全性を表す繰越金は、前期比31万円増の約393万円となっております。

23年度予算

23年度予算につきましては、年会費及び名刺広告等の経常収入の減少を見込んで、緊縮予算を組まざるを得ず、収入減に対応して支出についても一層の削減を図ることとしました。予算上は、2万円強のわずかながらの黒字を見込みますが、収入が増加しない限り、厳しい財政状況が続くものと予想されます。

会員の皆様の会費の納入及び、少しでも構いませんので、一般会計へのご寄付を、切にお願いする次第です。

（事務局長　髙森　正雄）

法政経友会におけるSNS活用の現状についてのご報告

私の学生時代である90年代後半を回想しますと、この頃から「就職超氷河期」とか「パソコンと英語はビジネスの世界では必修」と聞くようになりましたが、新卒の就職状況が好転した今日も、ビジネス以外でもパソコンと英語は必修です。

学校生活においては、入学試験または資格・検定試験の申込から受験料の支払い、合否通知・合格証明までオンライン（ペーパーレス）による手続きが求められ、コロナ禍もあり、こうした動きは加速されました。

パソコンやスマートフォンから文章、写真、動画を投稿するのが生活に不可欠という社会背景から、法政経友会では、ＳＮＳ（インターネット上での相互交流）活用の検討を開始し、２０２３年夏現在、主にLINEとTwitterを利用した、会員間の積極的な交流を目指しております。

Twitterの特徴は、不特定多数（誰でも）が閲覧できるのに対して、LINEの特徴は特定（グループ、友達登録されている）の方のみ閲覧できます。このような特徴を活かし、Twitterを通して、できる限り素早く法政経友会情報を皆さんへ公開し、LINEで、経友会会員同士のコミュニケーションを図りたいと考えています。

LINEやTwitterは文章投稿型に分類され、これに主にYouTubeやZoomのような動画配信型のＳＮＳを導入して、地方または海外在住の会員も東京で行われる総会、懇親会・忘年パーティー、役員会議等へ容易に参加できる体制を図りたいところですが、実現するには担当役員が不足しているのが現状です。

また、新聞やテレビの報道でも伝えられているように、Twitterはイーロン・マスク氏が買収して以降、方針が変更され、ロゴまで変わると発表されました。法政経友会としても、今後運用を再検討することになるかもしれません。

法政経友会の入会・参加者を増やす仕組みの構築のためにも、会員のみなさまによるＳＮＳ化のご支援とご理解をお願いいたします。

（川南　卓也／協力・渡邉　瑞江）

LINEの画面

Twitterの画面

事務局COLUMN

80歳で法政大学通信教育部経済学部を卒業された下田貴和さん（福岡県）が、経済学部同窓会に入会されました。事務局からぜひコメントをとお願いしたところ、一文をお寄せくださいましたので、紹介させていただきます。

入会に際しての所信

御年80歳での卒業は長い道のりでしたが、卒業となり安堵な気持ちと寂しさが交錯しています。卒論は「地域コミュニティの拡充を経営学視点からの分析と提議」を書きあげ、予期せぬ高い評価をいただきました。

小生は関東で大手企業の子会社に勤めましたが、学歴の点もありパワハラを経験しました。しかしリタイア後にコミュニティの区長会長を永く経験しました。ここで福岡の偏差値の高い大卒者の多くと仕事をしましたが、臆するところは全然ありませんでした。仕事は学歴でするのではなく、知識をベースにしての課題を解決する知恵が必要と、大学生活で痛感しました。学歴や職歴のステータスではなく、裸の個人の能力、実行力を包含した資質が必要であると夢想するこの頃です。

私は法政大学の駅伝チームを支援するファンの一人です、三大イベントで５位以内の達成を夢見ています。「愛する法政大学」が日本のみならず世界に羽ばたくことを皆様と祈念いたします。

大樹生命保険勤務の法政経友会常任幹事による現役学生との対話の会を多摩キャンパスにて開催

7月7日（金）、学生会の植田さん、遠藤さん、そして岡部ゼミの皆さん7名と経友会事務局長の高森さん、常任幹事の岡野の9名で、学生とOBの対話会を開催しました。

まずは、2004年に大学を卒業後、大樹生命保険に勤務する私、岡野がメインスピーカーとなり、生命保険会社の仕事についての話をしました。その際、生命保険や生命保険会社の仕事のイメージを質問したところ、金融関係のゼミ生が多いからか、機関投資家としてのイメージが強いようで、私にとってはとても意外で興味深かったです。

続いて、予め学生から要望をいただいていた、キャリアパスについて、人事担当目線ではなく、従業員目線で、自分自身の実体験を踏まえながら話をしました。

積極的な質疑応答が交わされた

時間の半分は質疑応答を費やし、その内容はさまざまでしたが、残業時間や休日出勤の有無など、労働時間に関することや休暇の取得については、興味深げに聞いていました。

また、社内のイベントや、留学制度などの人材育成の考え方や実態、海外で活躍する場があるかなど、沢山の質問があり、あっという間に約1時間半の予定時間が過ぎました。

ひとつ残念なのは、私のキャリアの大半を占めているリテール営業についての質問が少なかったことです。機関投資家としての側面も、リテール営業を中心として、お客さまからお預かりする保険料があってのことですので、今後理解を深めていただけると嬉しいなと思いました。

ネットで簡単に情報が手に入る世の中ですが、こういった個々人の体験に絡む情報は、今後ますます貴重になってくると思います。私自身、お会いした皆さんの生の声を聞く事ができ大変よかったです。

（岡野　哲也）

経済学部学生会代表を務めさせていただいています、経済学部経済学科3年の遠藤千加と申します。

先日行われたディベート大会では、同窓会の方々や教授会の先生方のご協力のもと、代表として初めての仕事を務めました。今年は、各種の制限も緩和されたことから、マスクなしで参加するチームも多く、とても活気のある大会となったことを、大変嬉しく思います。

私は、去年岡部ゼミの出場者として大会に参加しました。ディベートをすること自体が初めての経験で、普段、講義を受動的に受けていた私にとっては、自分の主張を持ち、相手にわかりやすく伝えるということに、かなり苦手意識を持っていましたが、この大会を通じて思考力や表現力などのスキル向上に繋がったと、強く感じました。

今年は、参加ゼミ数がやや減少した中での開催となりましたが、日ごろの講義で得た知識を蓄積するだけに留まらず、議論や共同作業を通じて学びを醸成させるこの大会を、より多くの学生に知ってもらい、来年はさらに白熱した大会になるよう、繋げていきたいと考えております。

またディベート大会に留まらず、こうした経済学部のイベントに、学生が積極的に参加できる環境作りに努めてまいる所存です。

最後になりますが、学生会がこのように活動できるのも、同窓会の皆様のお力添えのおかげです。今後も、経済学部を積極的に盛り上げてまいりますので、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

遠藤（えんどう）　千加（ちか）
経済学科3年
岡部雅史ゼミ

第14回学生ディベート大会をマスク制限なしで実施
決勝戦では岡部ゼミ同士の熱い闘いが繰り広げられる

６月24日（土）、経済学部棟３０５教室で、学生20名、教員４名、同窓会員９名の計33名が参加して、第14回経済学部学生ディベート大会が開催されました。

12時半から始まった大会では、まず池上宗信教授会副主任と学生会代表の遠藤千加さんから開会の挨拶があり、続いて審査方法、ルールの説明、審査委員紹介ならびに選手紹介のあと、決勝戦が始まりました。

６月９、16日の予選では、４ゼミ、７チーム（約35名）が参加し、３つの論題のもとで戦いが繰り広げられました。24日は、予選を勝ち抜いた岡部ゼミ②チームと岡部ゼミ①チームによって、決勝戦が行われました。

「日本は外国人労働者の受け入れを拡大すべきか否か」というテーマのもと、両チームは肯定、否定それぞれの立場から白熱した議論を戦わし、立場を入れ替えての論戦も行われました。

論理性や資料・データの分析力などを競う熱のこもった戦いは、教員の山田快先生、菅幹雄先生、同窓会の花澤良三氏、嶋崇氏の計４名の審査員による採点の結果、優勝は岡部ゼミ②チーム、準優勝は岡部ゼミ①チームとなりました。

優勝　岡部ゼミ②チーム

準優勝　岡部ゼミ①チーム

表彰式では、池上教授会副主任から賞状授与が、村田同窓会会長からは賞金授与が行われ、続いて審査員による講評、最後に村田同窓会会長・花澤幹事長の挨拶、学生会代表の植田臨太郎さんから閉会の挨拶があり、３時間におよぶ大会の幕は閉じられました。

村田同窓会会長は挨拶で、次のように述べられました。

「ディベートは、肯定、否定を互いに交代しながら行う論証の戦いですが、ここではデータからの論点説明だけではなく、テーマの主人公の立場に立って考えることが重要だと思います。この立場でデータを分析すると、多様な考え方ができます。

今回のテーマは『海外からの労働者受け入れ』ですが、海外からの労働者にとってはまず、日本が魅力的な国であるかどうかが重要なポイントになると思います。

魅力ある国造りは、若い皆さん方の発想力にかかっています。今後もディベート大会などが、経済学部で末永く続けられることを期待しています。」

今大会の運営を取りまとめてきた、学生会代表の遠藤千加さんから感謝のメッセージが寄せられているので、左に紹介します。

（文／写真・菅野里見）

第14回 学生ディベート大会に参加して

経済学科３年
学生会代表　遠藤　千加

同窓会や教授会をはじめ、多くの方々のご後援のおかげで、今年も無事にディベート大会を開催することができました。大会にご協力いただいたすべての方に、心より御礼申し上げます。

新型コロナウイルスが収束に向かいつつある中、各種の制限が緩和されたことにより、今年は大変活気のある白熱したディベート大会となりました。今年は去年に比べ参加チーム数が少ない大会となりましたが、今後は、学生会を通じてより多くの学生に、こうした伝統的なイベントに興味を持ってもらえるよう努めて参る所存です。

これからもイベントを通じて積極的に法政大学経済学部を盛り上げて参りますので、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

経済学部教育・研究体制一覧

2023年7月現在の経済学部教授陣と専攻分野を紹介します。（50音順）

【経済学科】

阿部　俊弘　教　授　統計科学
飯野　厚　教　授　応用言語学、英語教育学
伊藤　健彦　准教授　社会心理学
岡部　雅史　教　授　環境科学、生物学
小黒　一正　教　授　財政学、公共経済学
小沢　和浩　教　授　情報処理
ジョン・カレンガ　准教授　西洋経済史
河村　真　教　授　産業組織論、応用計量経済学
黒田俊太郎　教　授　日本文学
後藤　浩子　教　授　イギリス社会思想史
小林　克也　教　授　地方財政論
酒井　正　教　授　労働経済学
坂本　憲昭　教　授　制御理論
篠原　隆介　教　授　公共経済学、ミクロ経済学、ゲーム理論
芝田幸一郎　教　授　ペルー考古学・人類学・ラテンアメリカ研究
菅　富美枝　教　授　契約法、消費者法、イギリス法、法社会学
菅　幹雄　教　授　経済統計
菅原　琢磨　教　授　社会政策論、医療経済学、医療関連産業の産業組織論
杉本　龍勇　教　授　スポーツ経済学、スポーツ経営学
ロバート・ストラウド　教　授　英語教育学、応用言語学
石　碩　准教授　中国文学
タナカ・ジェイ　准教授　英語教育学、応用言語学
田村　理香　教　授　アメリカ文学
張　欣　教　授　中国文学
友松　夕夏　准教授　経済人類学
中谷　安男　教　授　応用言語学
西澤栄一郎　教　授　環境政策論
新田　誠吾　教　授　19世紀末から20世紀初頭のドイツ文学
橋本　到　教　授　フランス語、フランス文学
濱秋　純哉　准教授　公共経済学、応用計量経済学
平井　俊行　教　授　ゲーム理論、ミクロ経済学、公共経済学
平瀬　友樹　准教授　経済理論形成史
廣川みどり　教　授　社会的選択論、公共経済学
藤田　貢崇　教　授　物理学
宮脇　典彦　教　授　経営統計学、経営科学、データ解析
八木橋毅司　教　授　マクロ経済学、国際マクロ経済学、応用計量経済学
山﨑　友紀　教　授　資源・環境工学、化学、理科教育
山田　快　教　授　スポーツ心理学、スポーツコーチング学
リッチングス・ヴィッキー　准教授　日本語教育学、英語教育学、日本文学、比較文化

【国際経済学科】

池上　宗信　教　授　開発経済学
奥山　利幸　教　授　理論経済学
近藤　章夫　教　授　経済地理学
マニーシュ・シャルマ　准教授　経済学、コーポレートファイナンス、日本経済
進藤理香子　教　授　ヨーロッパ経済論
ジェス・ダイヤモンド　教　授　ファイナンス、マクロ経済学、労働経済学
高橋　秀朋　教　授　金融、ファイナンス
武智　一貴　教　授　国際経済学
田村　晶子　教　授　国際経済学、マクロ経済学、応用計量経済学
冨永　靖敬　准教授　国際関係論
倪　彬　准教授　国際経済学、開発経済学、応用計量経済学
馬場　敏幸　教　授　アジア経済、技術移転、技術経営
ブー・トウン・カイ　教　授　国際マクロ経済学の理論と実証
馬　欣欣　教　授　中国経済論、労働経済学
松野　響　教　授　比較認知科学、実験心理学

【現代ビジネス学科】

井上　祐樹　准教授　経営戦略、イノベーション・マネジメント
梅津　亮子　教　授　管理会計、原価計算
岸　牧人　教　授　監査論
胥　鵬　教　授　コーポレート・ファイナンス・ガバナンス
杉浦　未樹　教　授　世界経済史
鈴木　豊　教　授　契約理論、理論的産業組織論、企業の理論
砂田　充　教　授　産業組織論、企業経済学
竹口　圭輔　教　授　財務会計
武田　浩一　教　授　金融論
田中　優希　教　授　財務会計
朴　倧玄　教　授　地理学（都市地理学）
古澤　直人　教　授　日本中世史
松波　淳也　教　授　環境経済学、理論経済学
宮﨑　憲治　教　授　計量経済学、マクロ経済学
明城　聡　教　授　産業組織論、応用統計学
湯前　祥二　教　授　ファイナンス
ジュリア・ヨング　教　授　国際関係企業史

経済学部職員人事

■経済学部事務課

【専任職員】
《転　出》
鷲崎　友希　施設保全部資産管理課資産管理担当

《転　入》
岡田　侑子　経理部経理課会計担当より
小田桐直哉　新入職員
（以上23年6月1日付）

■経済学部事務課資料室担当

【嘱託職員】
多摩資料室
《着　任》
倉光　友理
（23年2月1日～24年1月31日）

会員短信

全国の会員から事務局に寄せられた
お便りを紹介します
（　）は西暦年です

北海道から

川南　卓也（17年卒）
岩見沢市　45歳

前号の、新入会員と同窓会役員による懇談会の光景について、とても楽しい様子が伝わってきました。北海道に住んでいるので、定期的に参加することはできませんが、これからも会合の様子を会報でお知らせ戴きたく思います。

新入会員欄に自分の名前（当時は学生会員）が掲載されて10年が経過しました。法政経友会が設立されて30年以上経ちますが、経友会役員第１期において、４年前に発行された会報第77号の私の会員短信でお伝えした、プロ野球の関根潤三さん（２０２０年４月９日逝去）が副会長を務めていました。

関根さんはＶ９初年となる巨人で現役を引退しましたが、ＯＮをはじめとする選手や川上哲治監督を除いた年下コーチたちから「お父さん」と呼ばれ、たいへん慕われていました。冒頭の懇談会の雰囲気とは、どこか重なる気がいたします。

埼玉から

川上　良一（92年卒）
越谷市　64歳

大正11年創刊の『週刊朝日』が、５月に惜しまれつつ休刊しました。15年前、靖國神社をテーマにこの誌の取材を受けたのが、よい思い出です。

写真は、靖國神社の神池に映る、逆さボアソナードタワーです。

千葉から

池田　亘（72年卒）
市川市　76歳

「渡邉佐平先生の
生誕１２０年記念の会」

今年は佐平さんの生誕１２０年、没後40年、１０３歳で逝去された奥様豊子様の没後20年にあたり、６月11日御長男貞雄様91歳を迎え、ＯＢ21名が集い墓参とＯＢ会を開催し、在りし日の先生を偲びました。佐平さんの教え「学問は、人に教えられて学ぶものでなく、自ら学ぶものである。」反省です。

ＯＢも毎年高貴高齢者になり、足腰酒量が衰え、参加人数も少なくなりました。貞雄さんより、先生の蔵書が多摩キャンパス図書館に寄贈されていると伺い、機会があれば、是非訪ねてみては如何ですか。また、男性の寿命は、母親の寿命を受け継ぐが、日々の鍛錬も重要な要素であるとの、長寿の秘訣をうかがいました。

当日は、梅雨空もいちじおさまり紫陽花の映える墓参となり、会食後は皆で肩を組み、校歌を斉唱、来年の再会を誓い合いました。

角田　勇（64年卒）
流山市　82歳

学生時代の後悔としては、勉強しなかったこと。昼は合気道の稽古、夜はリッカーミシンで事務のバイト。土日は神宮球場で六大学野球の応援。単位取得すれすれでの卒業。それでもこの４年間は楽しかった。兄は法政の工学部の学生で応援団の副団長で成績も良かった。兄は72歳で亡く

なったが、私は82歳。まさに賢兄愚弟である。

東京から

胡口　靖夫（69年卒）
渋谷区　82歳

私は昨年のGW後、奈良の「古寺巡礼」を1週間ほどしました。その折、突然東大寺で一句閃きました。

一山が万緑の中東大寺

それを東京新聞の『東京俳壇』に投稿したところ入選しました。「紛れ当りだろう」と思いましたが、2回目に投句した。

飛び魚や遣唐使らも見たるらん

が再入選しました。これはヒョットしてモノになるかと思い、蕪村・子規・漱石などの句を本格的に勉強し始めました。しかし資力に乏しいので、師事する俳人もおらず結社にも入らずすべて独学です。それが功を奏したのか、超難関の呼び声高い『朝日俳壇』に

蹴鞠初め「アリ」「ヤア」「オウ」の掛け声す

が入選しました。わずか半年間あまりの勉強で「金星」をあげましたので、友人達がびっくり仰天。もちろん「なんだこれが俳句と言えるのか」という人もいましたが、大半は大胆に掛け声を詠み込んだのが斬新で成功の基と言ってくれましたので、まずはホッとしました。

その後、亡母の故郷である愛媛県松山市の友人が、俳句熱の盛んな愛媛新聞の文芸欄への投稿を勧めてくれました。おかげ様で

ふるさとや松山城の初日影

草餅や思ひさまざま旅の茶屋

が、それぞれ第1席で入選しました（他句は省略）。今後も同紙には投稿しますので、愛媛県の同窓会の皆さん、ご注目いただければ幸いです。

話は大きく変わりますが、前号（第88号）で花澤良三幹事長が、小湊鐵道の「菜の花祭り」の活動などを詳しく報告されておられました。小生「乗りテツ」でもありますので、春の桜や菜の花の花見、秋の紅葉狩などの吟行をかねて、同鐵道を利用したいと思っています。「ガンバレ　市原ルネッサンス!!」。

1941年東京・本郷生れ。日高ゼミ出身。

佐藤　博（玄祥）（56年卒）
中野区　92歳

もう何千人もいた同窓生（同級生は勿論）が、年と共に減りこそすれ増えることのない時代の流れです。（92歳）ゴールは未だ先と頑張っている。天与の生命を大切に、有意義に過ごす今日此の頃です。おお吾が母校の益々の発展を祈ります。

神奈川から

田島榮二郎（61年卒）
横浜市　84歳

ご無沙汰しています。又新聞に名刺かわりの広告を出させて頂きたい所存です。

同級生も半分以上他界しさびしさはまぬがれません。私は、未だ後継者（孫）が大学四年生です。他人のめしを食べてから後継者になる予定ですが、私もそれ迄元気でいれるか心配です。既に咽頭癌、肺癌で肺を半分取っています。脳梗塞も一昨年患い、狭心症もやりましたが未だ元気です。

呉　正男（54年卒）
横浜市　96歳

私の自慢は夫婦揃って満96歳。結婚70年目です。台湾で生れ中学を2回不合格で東京の中学へ。中学1年で大東亜戦の開戦。中学3年修了時に陸軍特別幹部候補生に志願入隊。戦後2年にソ連抑留より復員。満19歳で新制高校入学。満29歳で法大経済学部卒業。早期に同窓会に入会。生存者の長期間同窓会会員を自負している。

加齢と共に弱気になり勝ちですがクチが達者ですので総務省委託の平和祈念展示資料館（新宿住友ビル33階）認定の戦争体験者「語り部」として活動しております。又珍しいのでマスコミにモテテおります。

石川から

卯野　修三（81年卒）
能美市　64歳

令和5年春に行われた統一地方選挙で、石川県では法政出身の県議会議員が2名誕生しました。亀田ゆたか氏（工学部卒48歳・能美市能美郡選挙区）、竹田良平氏（経営学部卒・34歳・小松市選挙区）いずれも新人でした。

石川県の政界では、市長2名（加賀市とかほく市）、市議会議員3名（小松市1名・七尾市1名・能美市1名）頑張っています。

ご自愛ください

会報では広告を募集しています。あいさつ広告と企業広告があります。お申込みは事務局へ。広告の掲載料金は同窓会活動に大いに役立っております。幅広い会員各位のご協力をお願いいたします。

法政大学経済学部同窓会
会長
村田紀敏
昭和41年経済学部卒

法政大学経済学部同窓会
会長代行
加藤毅
〒175-0082 東京都板橋区高島平五―三一―一二
電話 〇三（三九三〇）八六六五
一九六〇年経済学部経済学科卒（上杉ゼミ）

メガソーラーコンサルタント
愛花創業㈱代表取締役
法政大学経済学部同窓会
幹事長
総務部会長
花澤良三
〒290-0141 千葉県市原市ちはら台東二―一一―一三
電話 〇四三六（三六）一一六〇
昭和46年経済学部経済学科卒

法政大学経済学部同窓会
事務局長
髙森正雄
〒191-0002 東京都日野市新町一―八―一九
昭和45年経済学部経済学科卒（渡邉佐平ゼミ）

経済学部同窓会副会長
文化シヤッター株式会社
代表取締役
会長
潮崎敏彦
昭和45年経済学部卒

株式会社　榎本興産代表取締役
法政大学経済学部同窓会
副会長
榎本勝治
〒180-0014 東京都武蔵野市関前三―四―十一
電話 〇四二二（五二）七一七二
昭和40年経済学部卒

法政大学経済学部同窓会
副会長
菅野里見
〒192-0913 東京都八王子市北野台三―四六―一一
電話・FAX 〇四二（六三七）二五三五
昭和42年経済学部卒

法政大学経済学部同窓会
副会長
佐々木範光
〒359-0007 埼玉県所沢市北岩岡一―一七
電話 〇四（二九四二）七八〇六
昭和42年経済学部卒

村串仁三郎法政大学名誉教授　著
「高度成長期日本の国立公園」
――自然保護と開発の激闘を中心に――
（時潮社、三五〇〇円）
著者は一九六九年法政大学大学院（博）単位取得
博士（経済学）
経済学部同窓会副会長・HP副部会長

法政大学経済学部同窓会
副会長
広報部会
小倉尚
〒145-0065 東京都大田区東雪谷三―一六―八
電話 〇八〇（五八七八）七一一一
一九六五年経済学部卒（高橋誠ゼミ）

法政大学経済学部同窓会
三和建装株式会社
会長
元角昌三
〒188-0005 東京都武蔵野市御殿山二―二〇―五
電話 〇八〇（二〇〇六）八七八七
昭和45年経済学部卒

法政大学経済学部同窓会
財政部会長
会田久仁夫
〒336-0017 さいたま市南区南浦和
三―二七―二二―一〇〇六
昭和42年経済学部卒

NPO法人海外留学生安全対策協議会JCSOS
理事長
池野健一
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷二―十二―十五
日本薬学会　長井記念館ビル一階
電話・FAX 〇三（六四一八）〇七一七・〇七一六
E-mail:kikeno@jcos.org
一九七二年経済学部卒

法友体育会顧問
法友ハンドボールクラブ名誉会長
川﨑保之
〒183-0035 東京都府中市四谷三―六四―二四
電話 〇九〇（二六四八）六三〇一
昭和38年経済学部経済学科卒

立秋を過ぎても続く残暑に

経済学部二部会計学研究会OB会
公認会計士
税理士　桑原正信
〒306-0016
茨城県古河市古河五四四―一四七
昭和43年経済学部商業学科卒

有限会社　エスケー（江戸川南納税貯蓄組合連合会会長）
NPO法人　日本閭質性膀胱炎患者情報交換センター理事長
関善明
〒134-0085
東京都江戸川区南葛西
六―十五―十四―五〇一
電　話　〇三（五六九六）三五五三
昭和38年経済学部卒（山本ゼミ）

オフィス曽根
代　表　南章乃
〒105-0013
東京都港区浜松町一―一―六―四〇四
電　話　〇三（三四三七）〇七八五
ＦＡＸ　〇三（三四三七）〇七八三
携　帯　〇八〇（三五六七）〇四三九
Gmail:753aass@gmail.com

株式会社加賀ライズ
ーITソフトウエア開発35年
代表取締役　高根典文
〒101-0021
東京都千代田区外神田六―十五―十一
日東ビル
江藤法友会名誉会長
一九六七年卒（上杉　捨彦ゼミ）

高橋建設興業株式会社
取締役会長　高橋久之
〒212-0004
神奈川県川崎市幸区小向西町四―六五
電　話　〇四四（五一一）〇五五七
ＦＡＸ　〇四四（五五五）一二八七
昭和35年経商卒

コマニー株式会社
会　長　塚本幹雄
〒168-0065
杉並区浜田山四―一六―四
セントマークス浜田山一一六
昭和48年経済学部経済学科卒

南宗谷カントリー倶楽部
顧　問　深井信朗
〒098-5204
北海道枝幸郡枝幸町歌登南町三八〇―四
電　話　〇一六三（六八）二八三六
昭和36年経済学部商業学科卒

二度栗山興業株式会社
取締役会長　宮内良雄
昭和26年経済卒

KGMコンサルティング代表
国際競争力エキスパート
綿貫健治
E-mail:ikencom1929@yahoo.co.jp
昭和40年経済学部卒

文京法友会
相談役　高橋将昭
昭和34年経済学部卒

盛況だった東証見学会

6月29日（木）、経済学部学生14名と同窓会会員6名の合計20名で、兜町の東京証券取引所（東証）を見学しました。午前10時から、法政大学法学部卒業の東証見学担当社員の案内で見学開始。東証に関する短いビデオを鑑賞し、ニュース等でおなじみの円筒形の株価表示装置（チッカー）のある見学施設を巡り、途中、たまたま行われた新規上場会社の上場セレモニーを見る機会にも恵まれました。最後は、「証券史料ホール」で証券市場の歴史を学び、見学を終了。見学後は、水天宮前の中華料理店にて会食を楽しみました。同窓会長老からの「遠慮しないで飲んで食べて」という掛け声もあって、和気あいあいの食事会となり、満足感に浸りつつ帰路につきました。

（髙森　正雄）

充実した内容だった東証見学会

【新入会員】

2023年4月～　（）は西暦卒年　［］は紹介者　敬称略

河野小夏（一）大河原進（23）
瀬間翔瑛（学生）
清水保乃加（学生）
吉田武史（23）
窪田雄飛（23）
牧野幸香（23）
太田彩香（学生）
天野ひろみ（23）
下田貴和（23）
西村惟孝（学生）

【一般活動支援金寄附】

2023年4月～　１口　千円　（）は西暦卒年　敬称略

川南卓也　１口（17）
高橋将昭　２口（60）
近藤光夫　２口（63）
菊地政廣　10口（70）
石山秀雄　４口（75）
浦野五左衛門　２口（61）
元角昌三　10口（70）
匿名　30口（63）
会田久仁夫　12口（67）
鈴木恵子　10口（12）
榎本勝治　２口（65）
加藤毅　２口（60）
津金富一　10口（71）
菅井弘明　10口（65）
中村隆輔　10口（65）
秀眞賢治　７口（58）
田村暢浩　10口（68）
榊原高広　２口（82）
菅野里見　２口（67）

森義男　２口（61）
徳弘義彦　10口（59）
原木正司　７口（71）
土師猛　２口（66）
髙森正雄　10口（70）

【学生支援金寄附】

2023年4月～　１口　千円　（）は西暦卒年　敬称略

小倉尚　２口（17）
北田善徳　10口（76）
川南卓也　１口（17）
髙森正雄　10口（70）

【30周年記念寄附】

2023年1月～　１口　千円　（）は西暦卒年　敬称略

滝沢清　10口（65）

板垣嘉彦（47）
山口憲一郎（68）
加納久照（65）
立川温（72）
片村晋（58）
中瀬康治（54）
伊藤肇（58）
小泉博道（61）
木村正（68）
古井直義（57）

楫野敏人（64）
松村康人（60）
田中正旗（62）
塩澤利通（57）
保田豊（60）
藤原速夫（57）
新村武彦（60）
佐藤元彦（53）
三田敏哉（56）

【訃報】謹んでご冥福をお祈りいたします

2023年5月～　（）は西暦卒年　敬称略

ご遺族の方から次の会員のご逝去のご連絡がありました。

同窓会発展のために、ご尽力ありがとうございました。

事務局からのお知らせ

多摩キャンパスも平常に戻り、朝はバスターミナルから大勢の学生が教室に向かう景色が日常となりました。学生にとっては、７月22日から月末までは試験期間となり、その後は夏休みに入ることになります。そのため８月は、学生の姿もほとんど消えてキャンパスは閑散となり、緑の中から聞こえるセミの声が主役となるといった具合です。先日、平和祈念碑の花壇にポーチェラカと松葉ボタンを植えました。現在、色とりどりの花が咲いています（写真添付）。

話は変わって、事務局では昼食にお弁当を届けてもらい、３人で歓談しながら楽しく食べていますが、女性お二方は私の昭和の話にとてもよく合わせてくれます。今日も、昔は教室にエアコンなどなく下敷きで扇いで過ごしていたとか、冬のだるまストーブ、日光写真、幻燈、ゴム飛び、長馬といった、現在では死語となった言葉が飛び交いました。会員の皆さまも機会がありましたら、どうぞ気軽に事務局にお寄りください。

最近の活動

- ４月28日（金）会報88号発送完了
- ５月20日（土）第６回代表・常任合同幹事会を開催
- ６月３日（土）2022年度定時幹事総会を開催
- ６月20日（火）平和祈念碑花壇植替え
- ６月24日（土）学生ディベート大会開催（同窓会後援）
- ６月29日（木）東京証券取引所見学会（学生、同窓会員合同）
- ７月15日（土）第１回代表・常任合同幹事会を開催
- ８月25日（金）事務局にて会報発送作業完了予定

以上のほか、必要に応じて電話やメールを通じた交信により、同窓会の運営等に関する打ち合わせを行いました。

今後の予定

今後は12月２日（土）に予定されている忘年の集いの開催に向けて準備を進めます。

（事務局長　髙森正雄）